

令和5年度 弘前大学附属図書館利用者アンケート 実施報告

館内設備やサービスに関する利用状況や満足度、要望等を把握し、今後の図書館運営及びサービス改善の参考とするために、令和元年度より毎年利用者アンケートを実施しております。

皆様からいただいたご意見・ご要望にお応えできるよう、今後も図書館サービス向上に取り組んで参ります。ご回答いただいた皆様のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

1. 実施方法

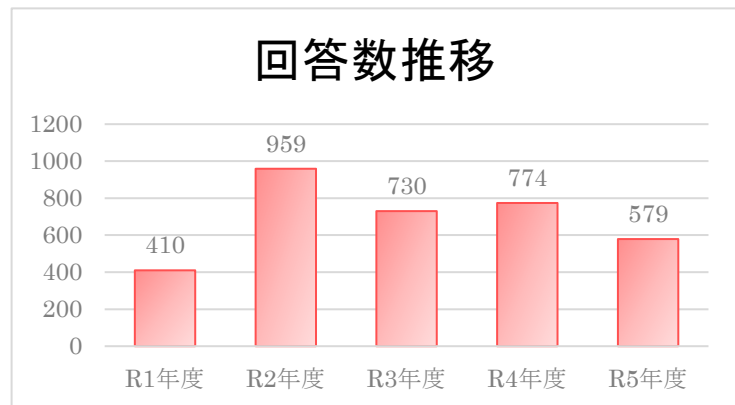
調査期間：2023年11月7日（月）～11月25日（金）

調査対象：学生、教職員

回答方法：Web フォーム

2. 回答数

Web フォーム	579
----------	-----

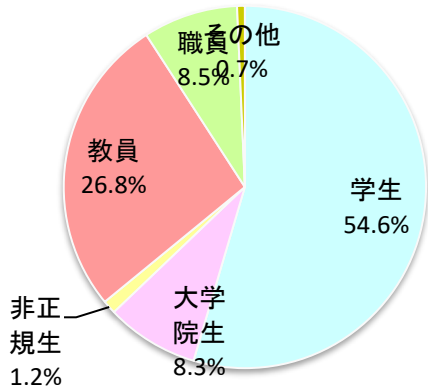


3. 回答結果

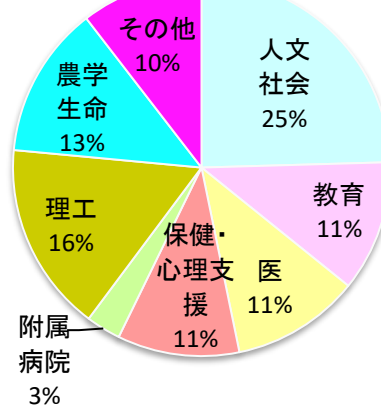
【設問1・2】回答者の所属・身分

	学生	大学院生	非正規生	教員	職員	その他	計
人文社会科学部	89	6	2	28	5		130
教育学部	30	5	1	20	2		58
医学研究科	39	3		33	8		83
保健学研究科・ 心理支援科学科	36	6		15	2		59
附属病院				5	1		6
理工学研究科	60	13		19	3		95
農学生命科学部	61	6		20	3		90
上記以外	1	9	4	15	25	4	58
計	316	48	7	155	49	4	579

回答状況(身分別)



回答状況(所属別)

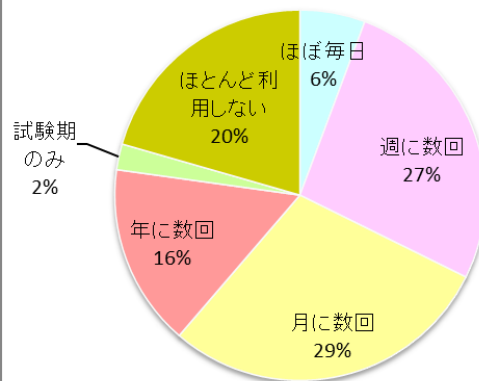


(利用状況)

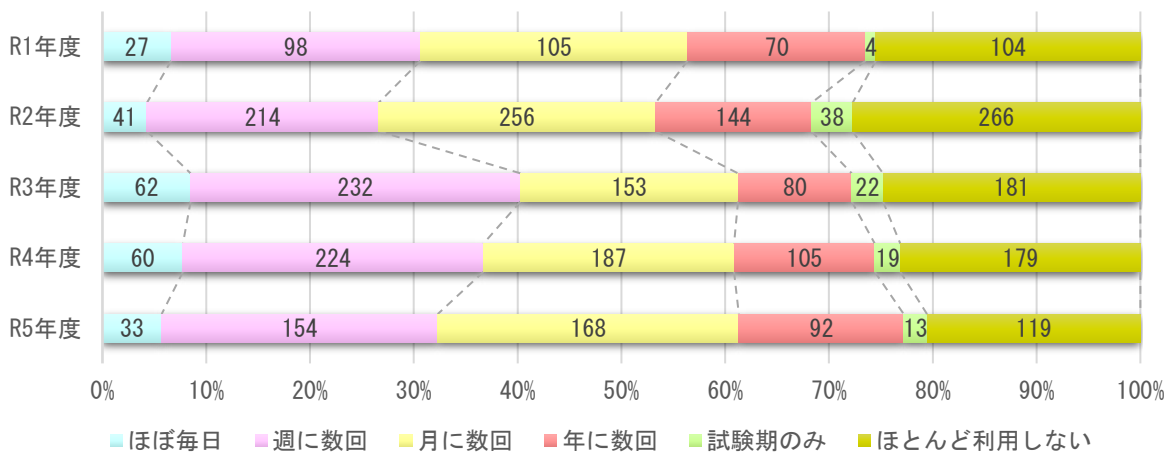
【設問3】図書館（文京キャンパスにある本館）をどのくらいの頻度で利用しますか？

ほぼ毎日	33
週に数回	154
月に数回	168
年に数回	92
試験期のみ	13
ほとんど利用しない	119
計	579

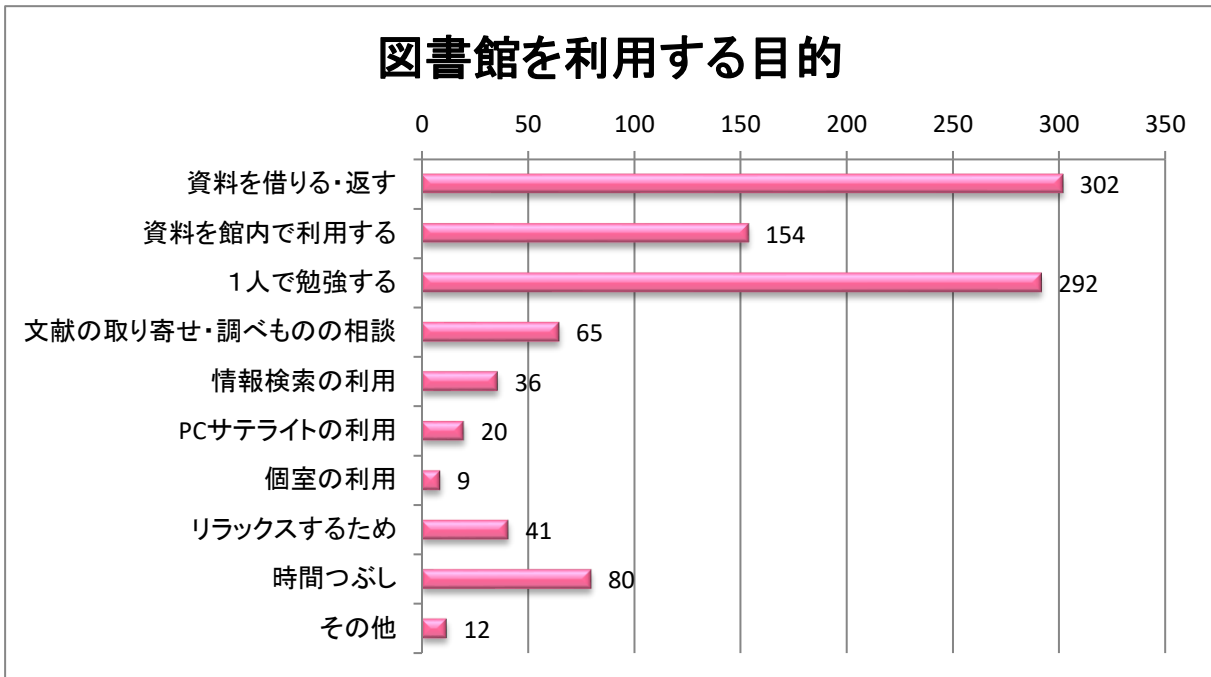
利用頻度



利用頻度(年度比較)

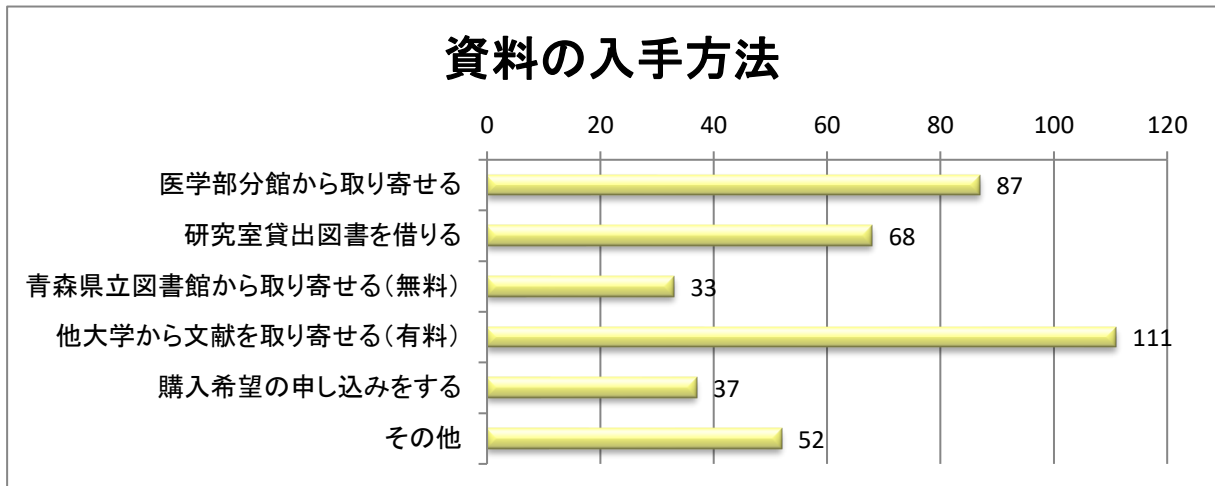


【設問 4】 図書館を利用する主な目的は何ですか？（3つまで）

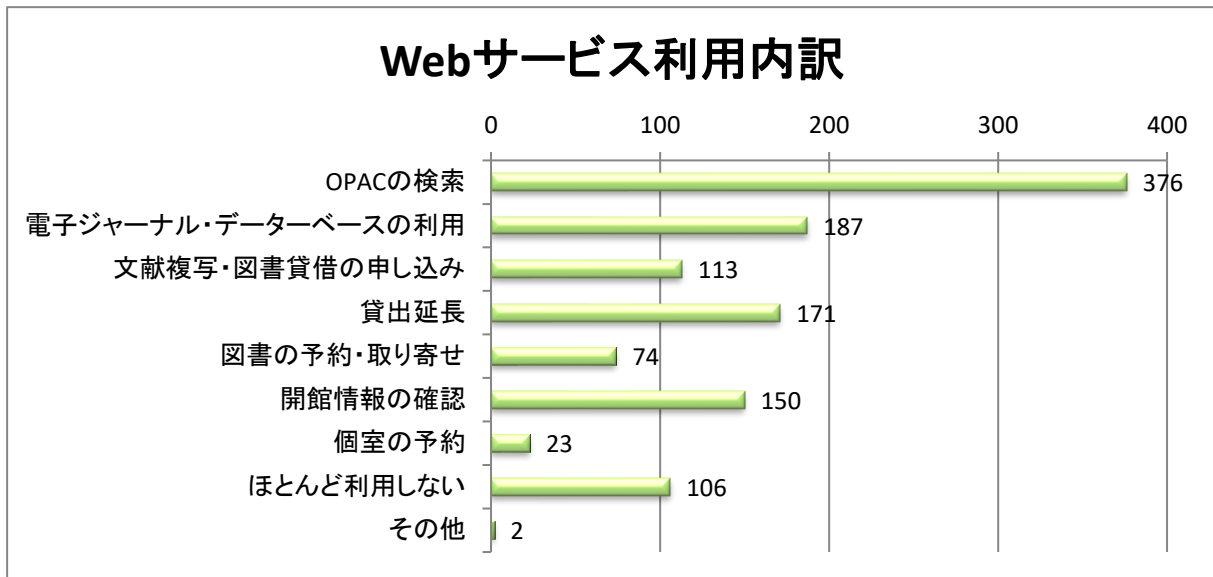


【設問 5】 資料の入手方法についてお尋ねします。

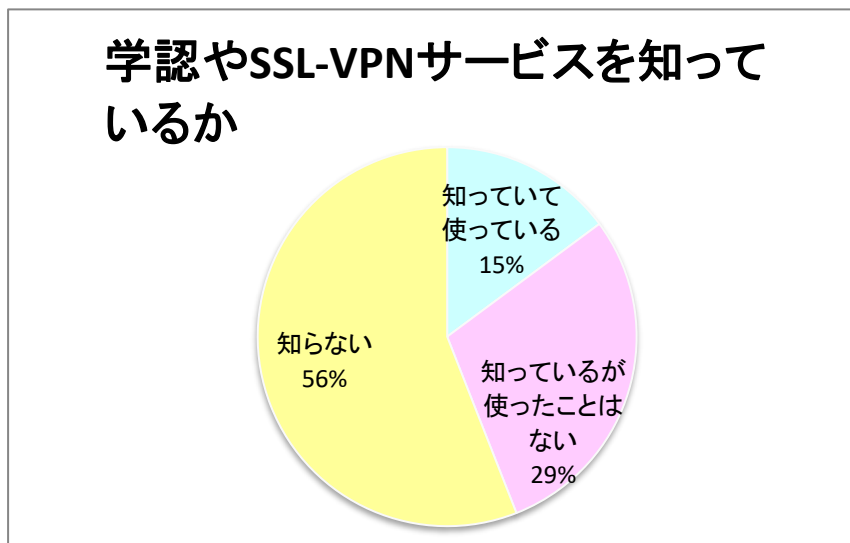
求めている資料が本館に無い時、次のサービスを利用したことはありますか？（複数回答可）



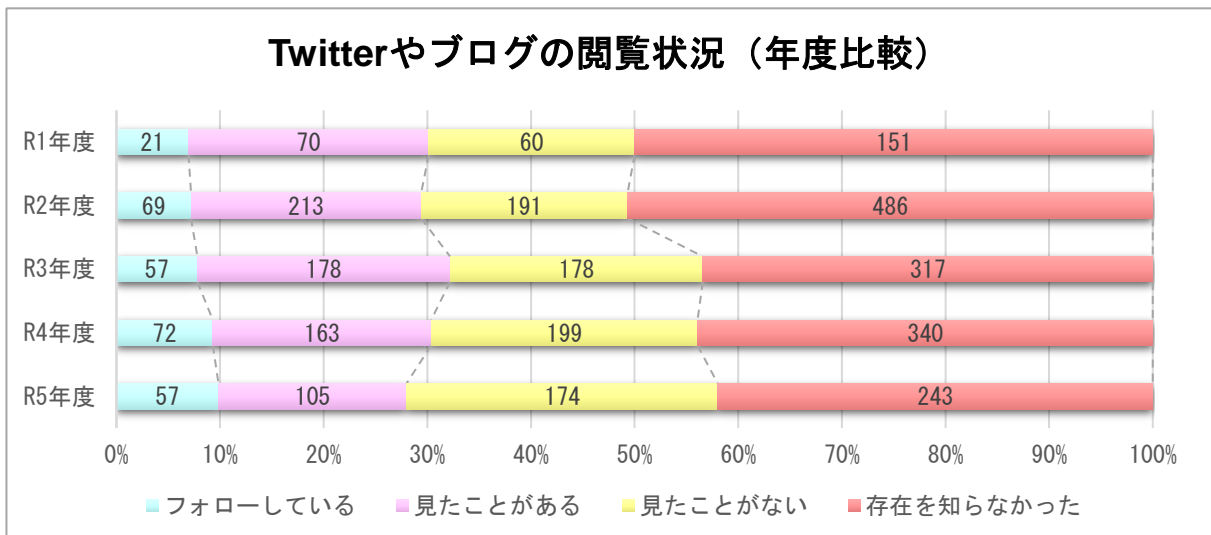
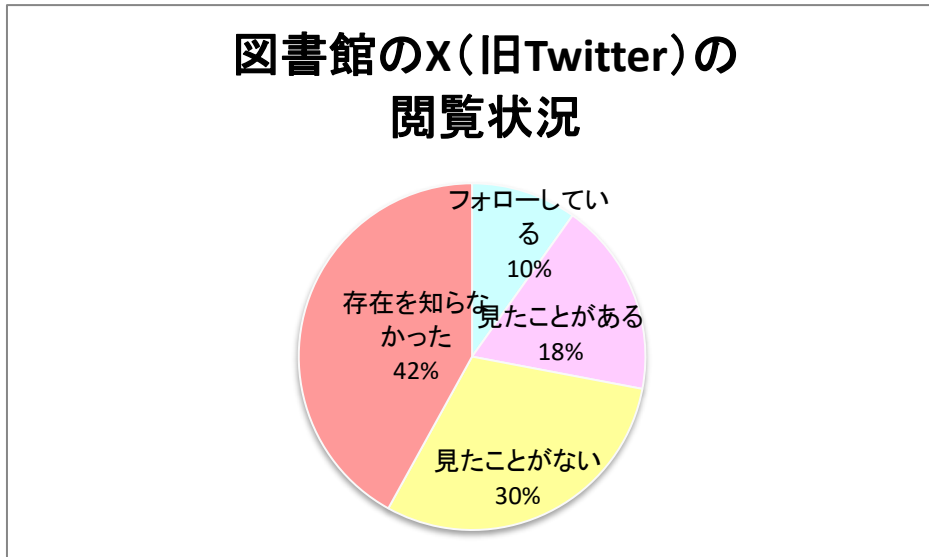
【設問 6】 図書館の Web サービスでは、何を利用していますか？



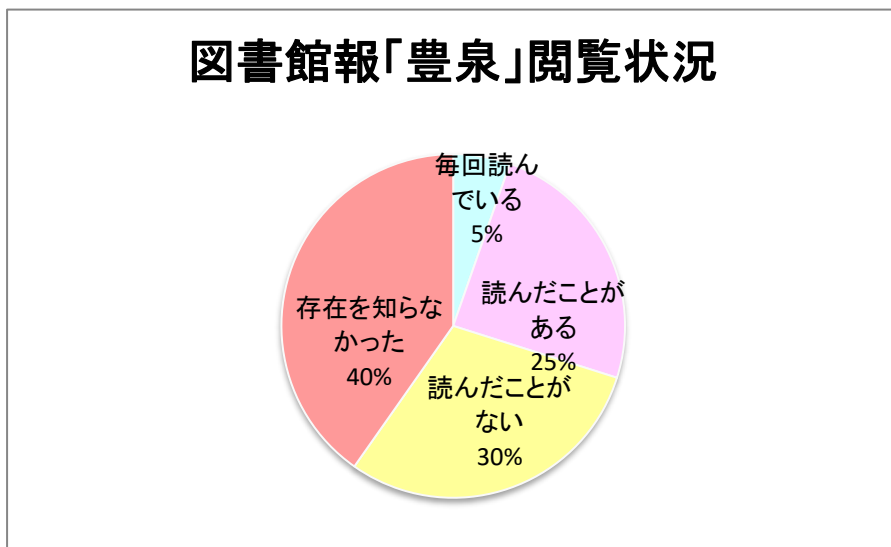
【設問 7】 電子ジャーナル・データベースを学外から使う方法（GakuNin（学認）や SSL-VPN サービス等）を知っていますか？

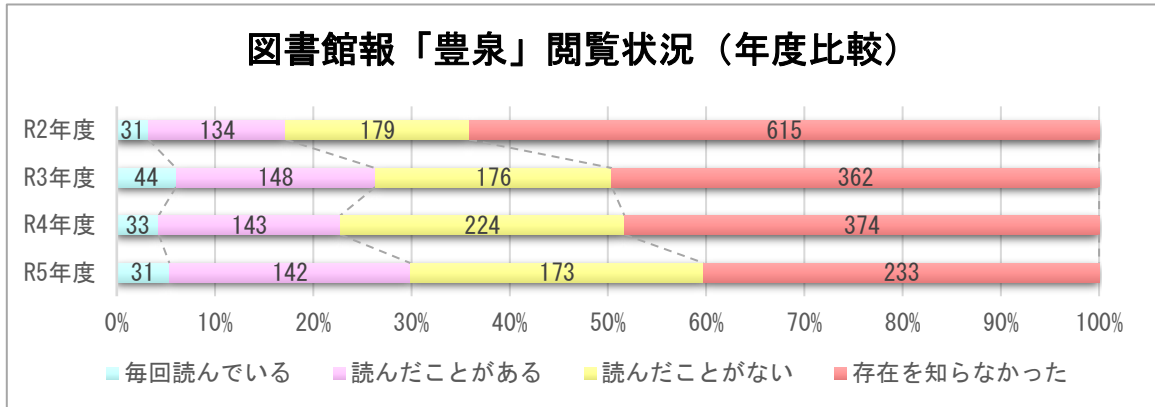


【設問 8】図書館の X（旧 Twitter）を見たことがありますか？

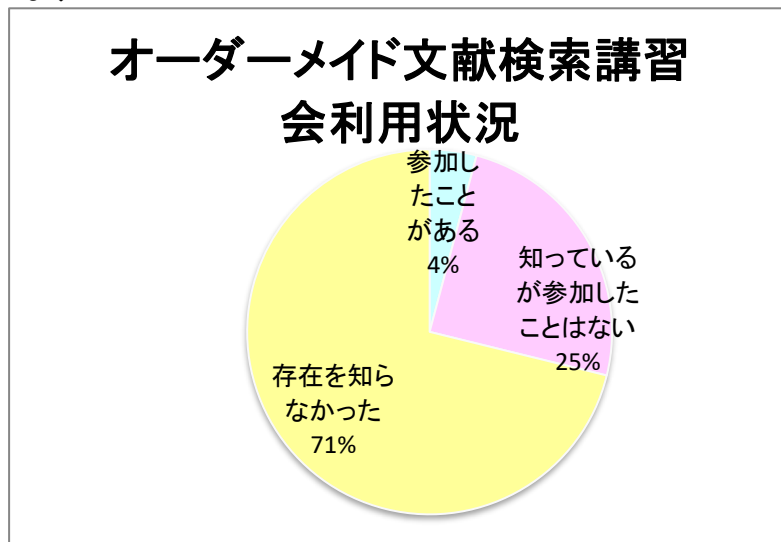


【設問 9】図書館報「豊泉」（年 2 回発行）を読んだことがありますか？

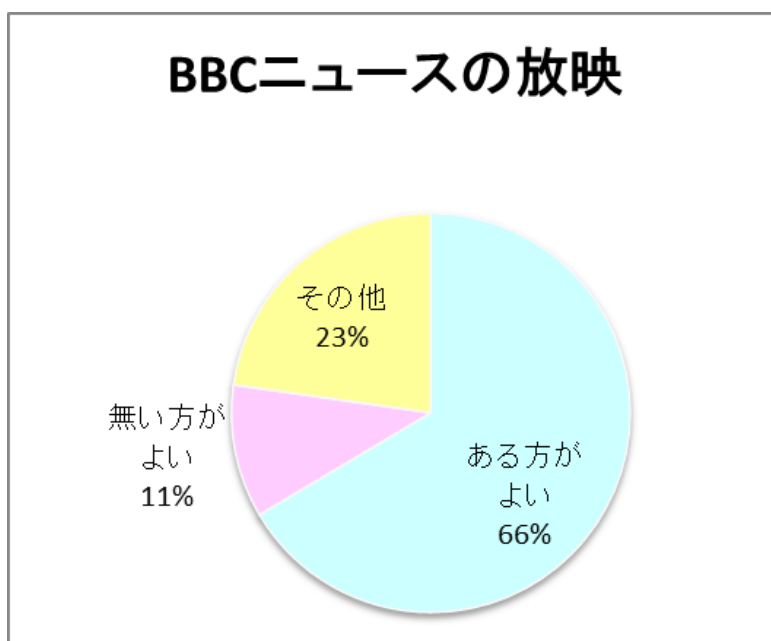




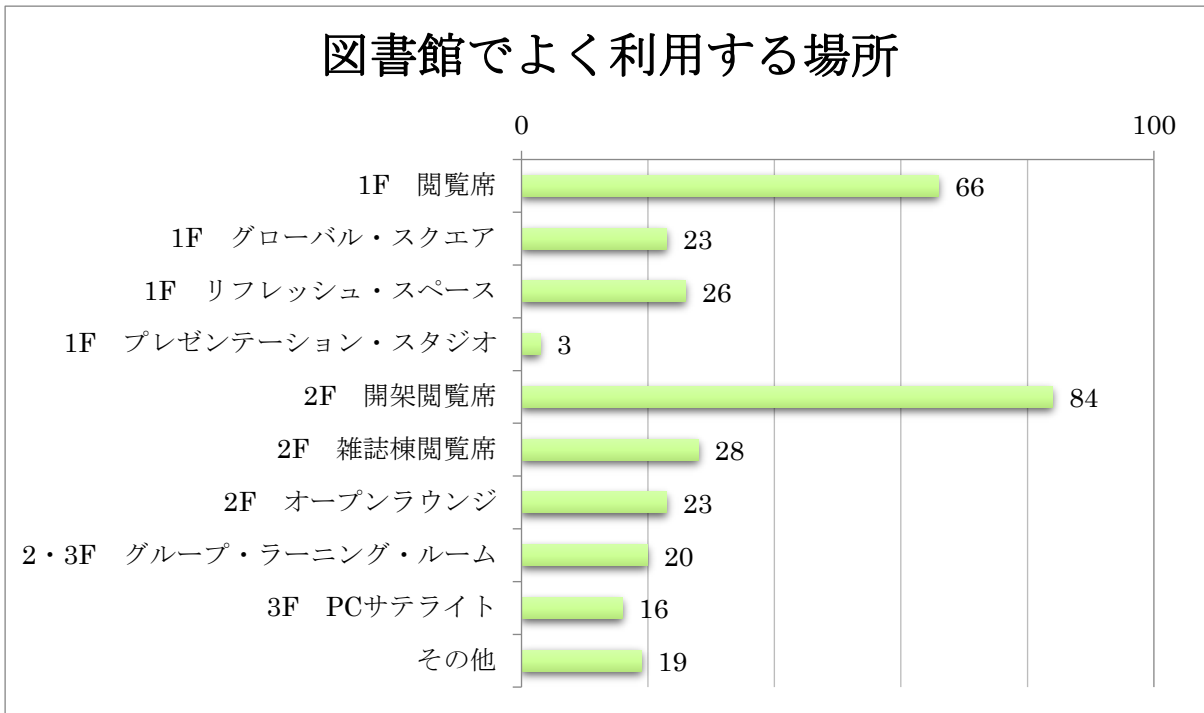
【設問 10】 オーダーメイド文献検索講習会（対面・オンライン配信）を行っていることを知っていますか？



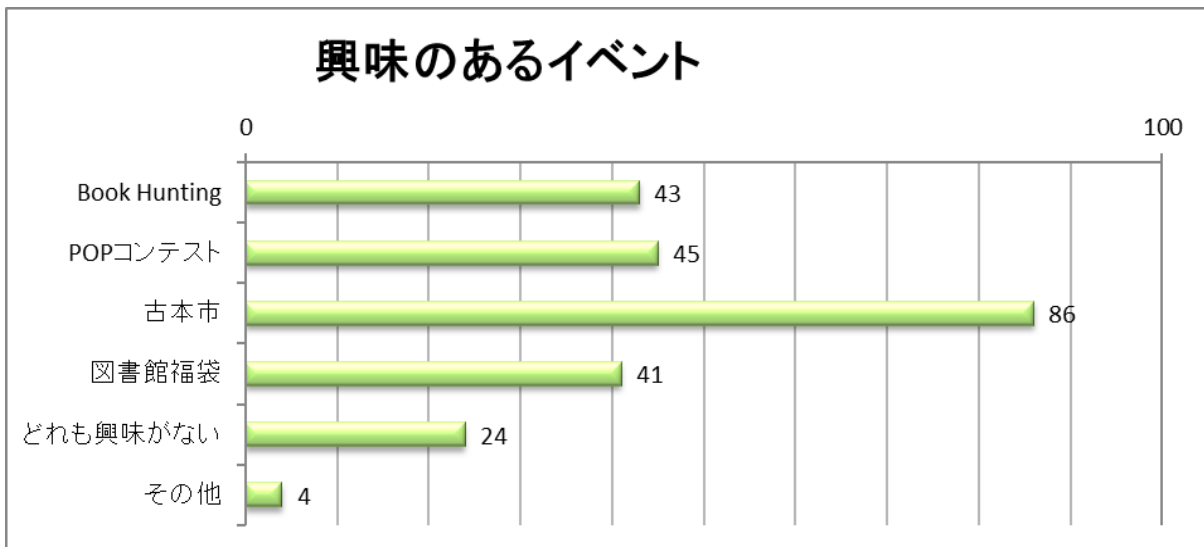
【設問 11】 グローバル・スクエアで常時放映している BBC ニュースについて、伺います。



【設問 12】 図書館（本館）の中でよく利用する場所はどこですか？（複数回答可）

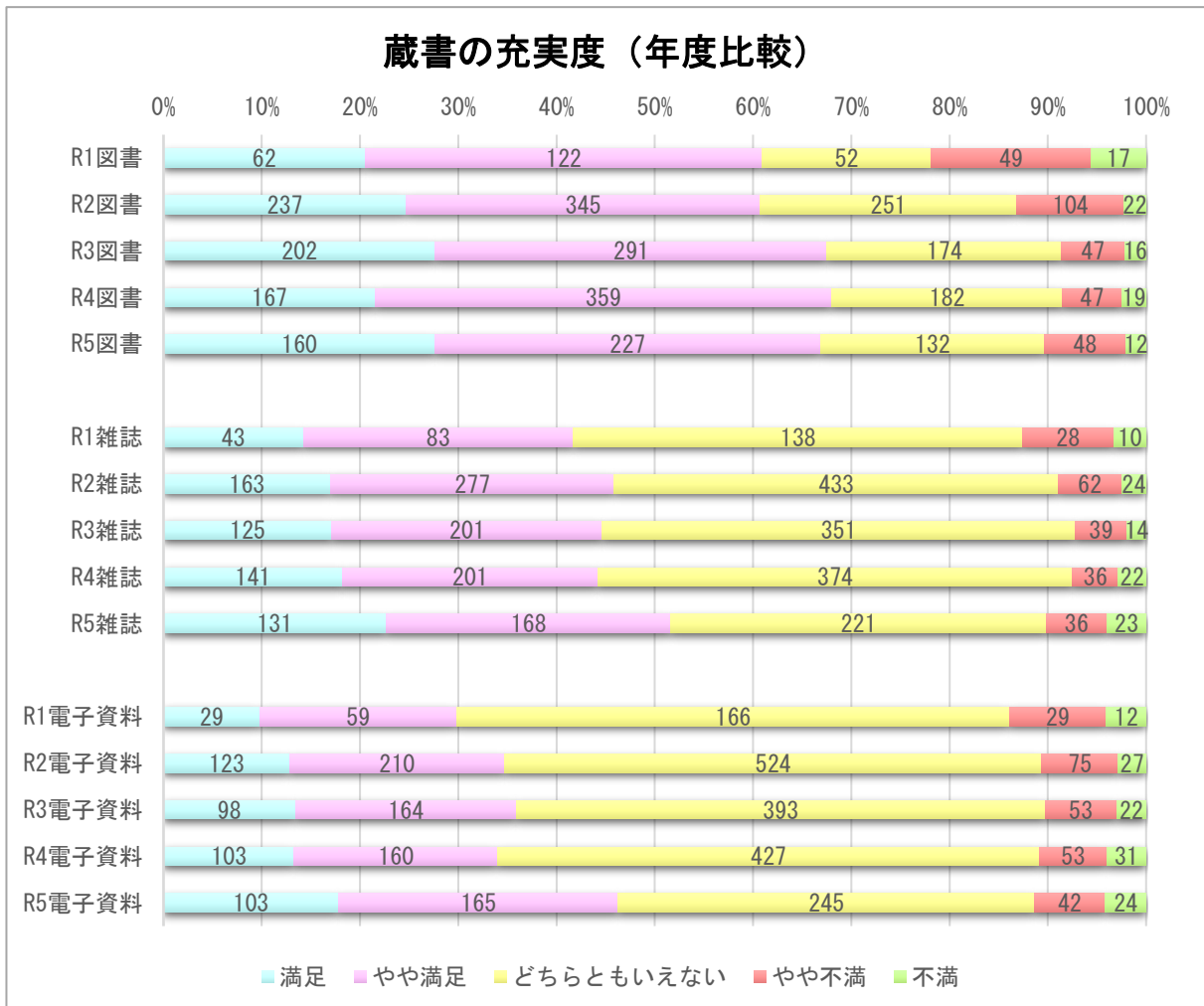
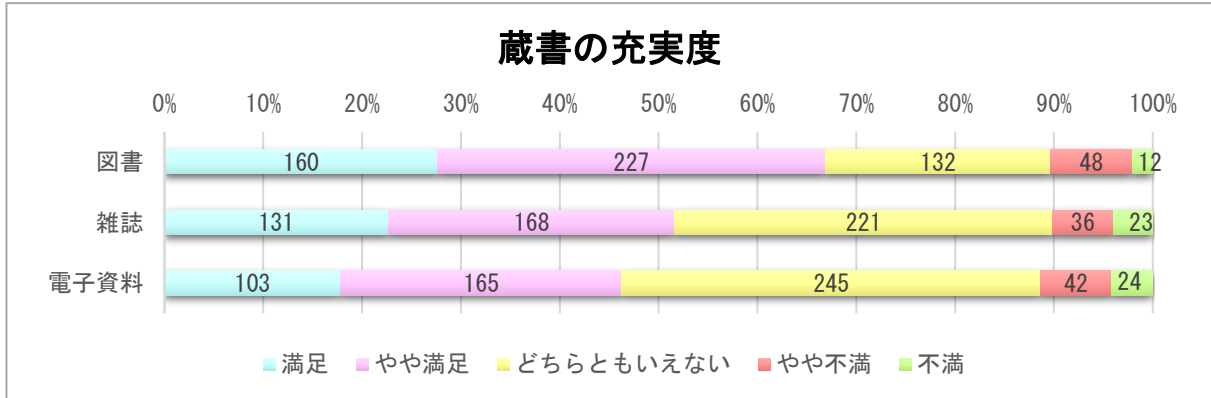


【設問 13】 図書館が開催するイベントで、興味があるものをお知らせください。（複数回答可）

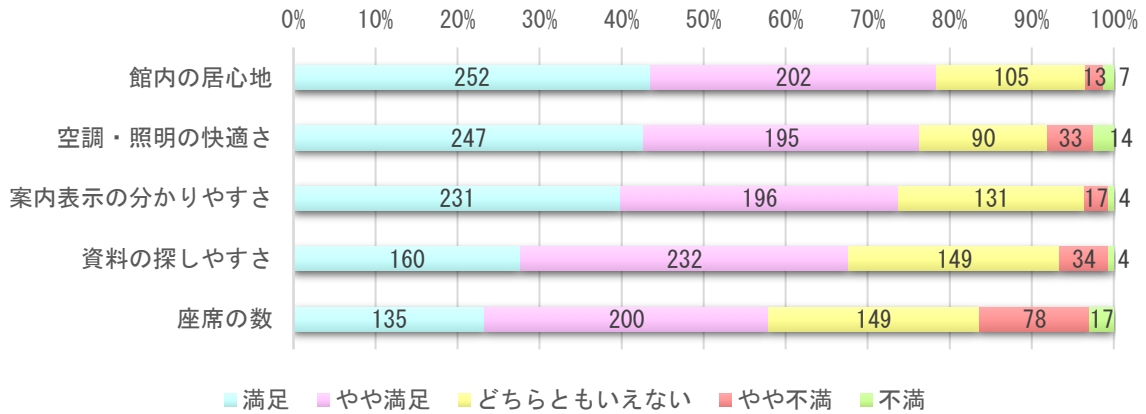


(満足度)

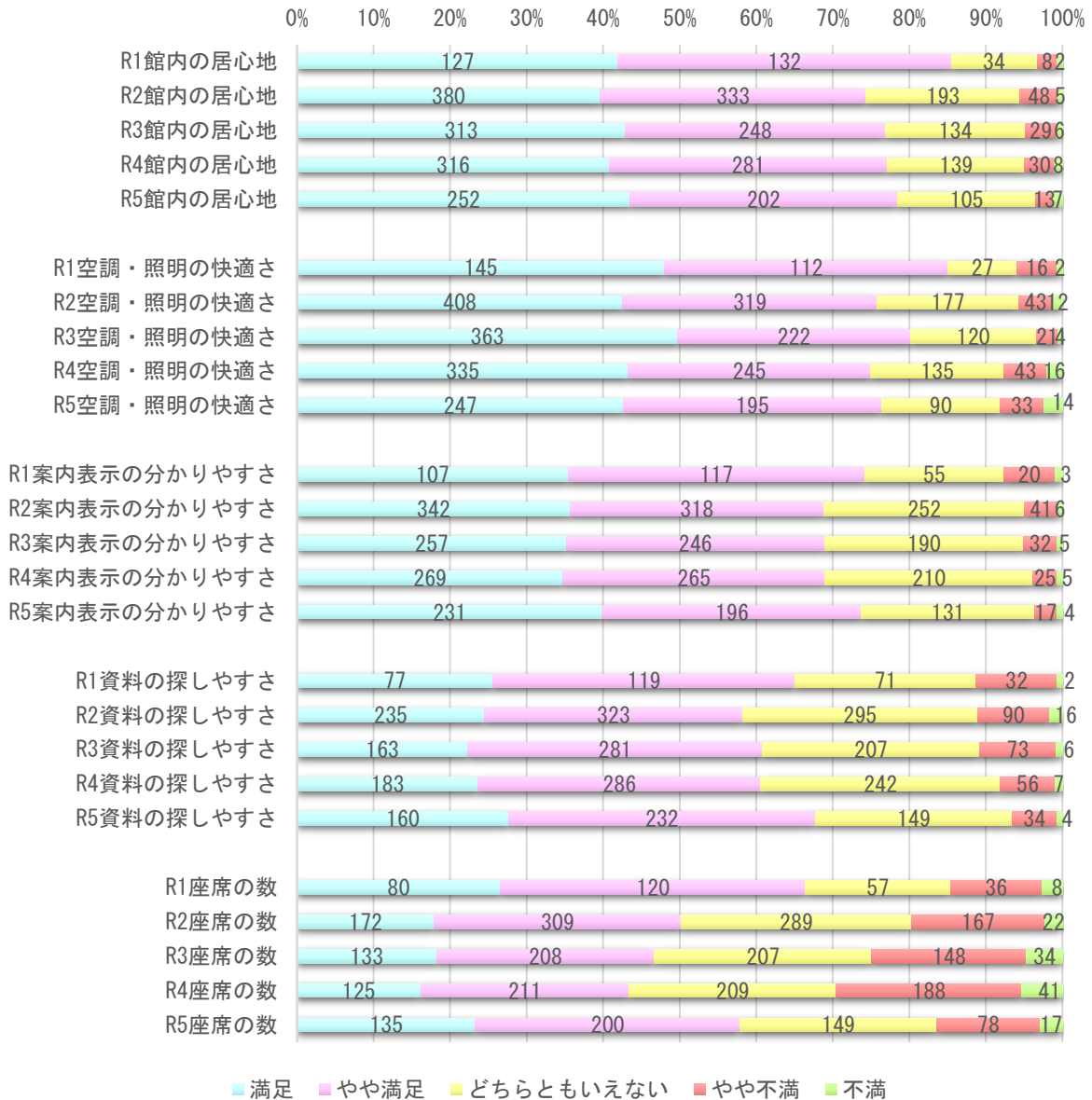
【設問 14】 次のサービスや施設・設備について、それぞれ最も当てはまる満足度を1つ選んでください。



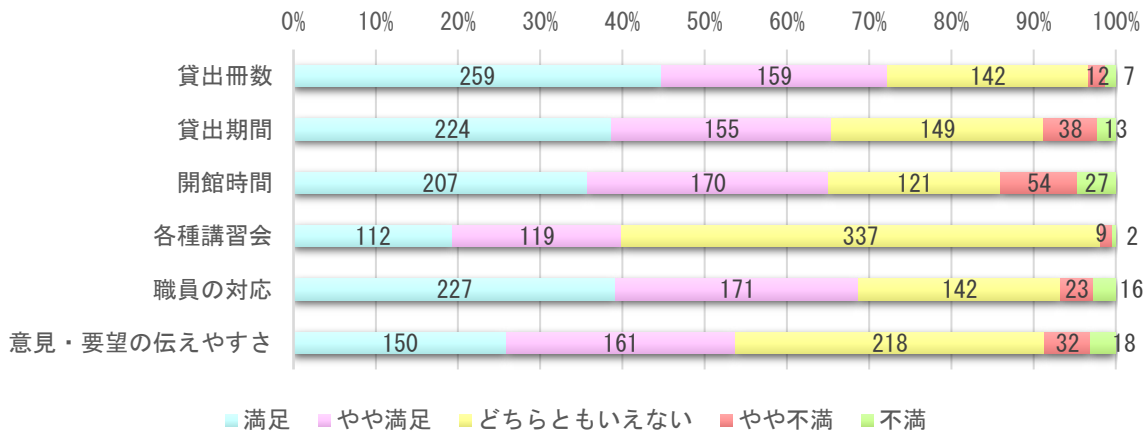
施設・設備の満足度



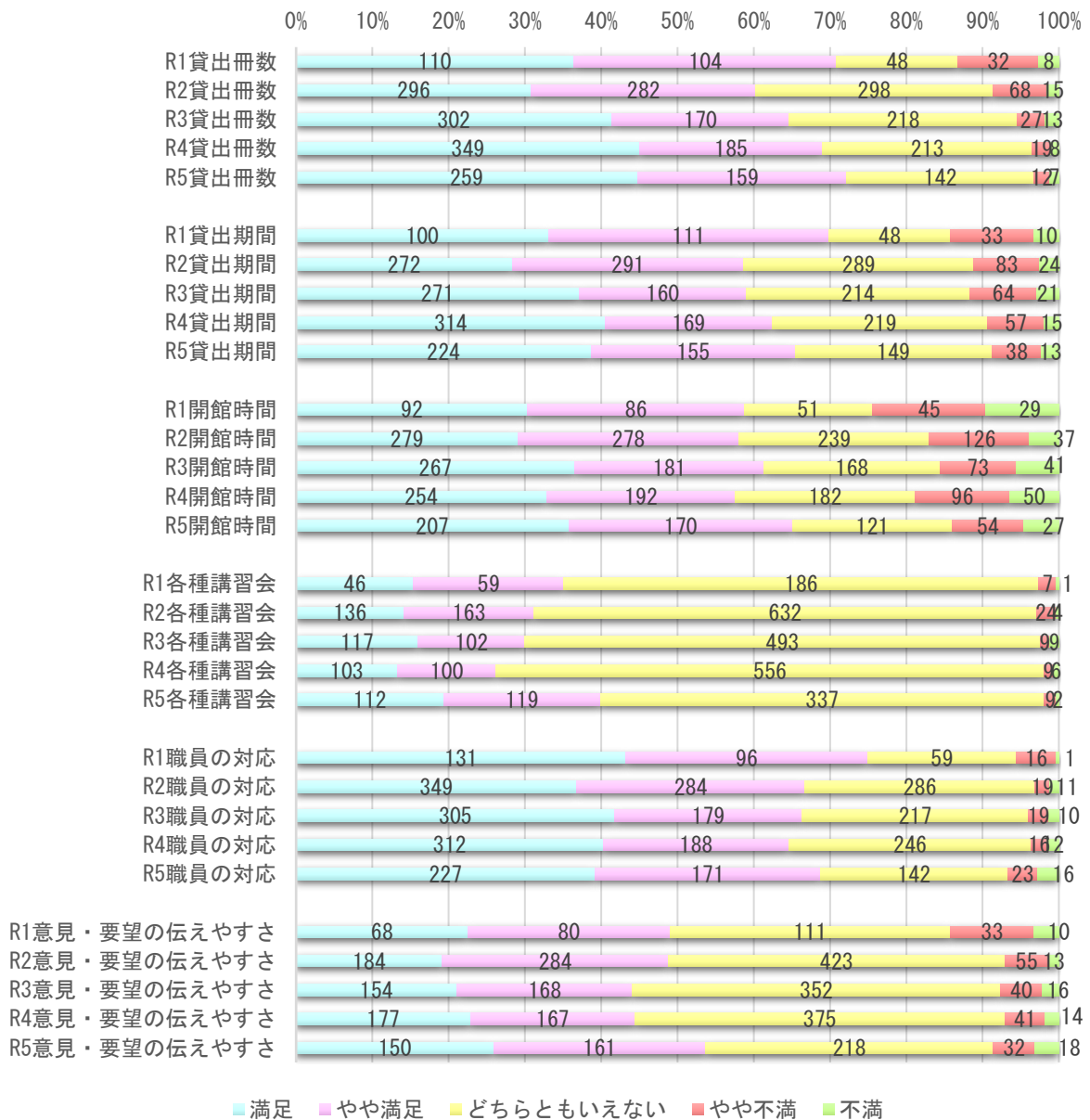
施設・設備の満足度(年度比較)



サービスの満足度

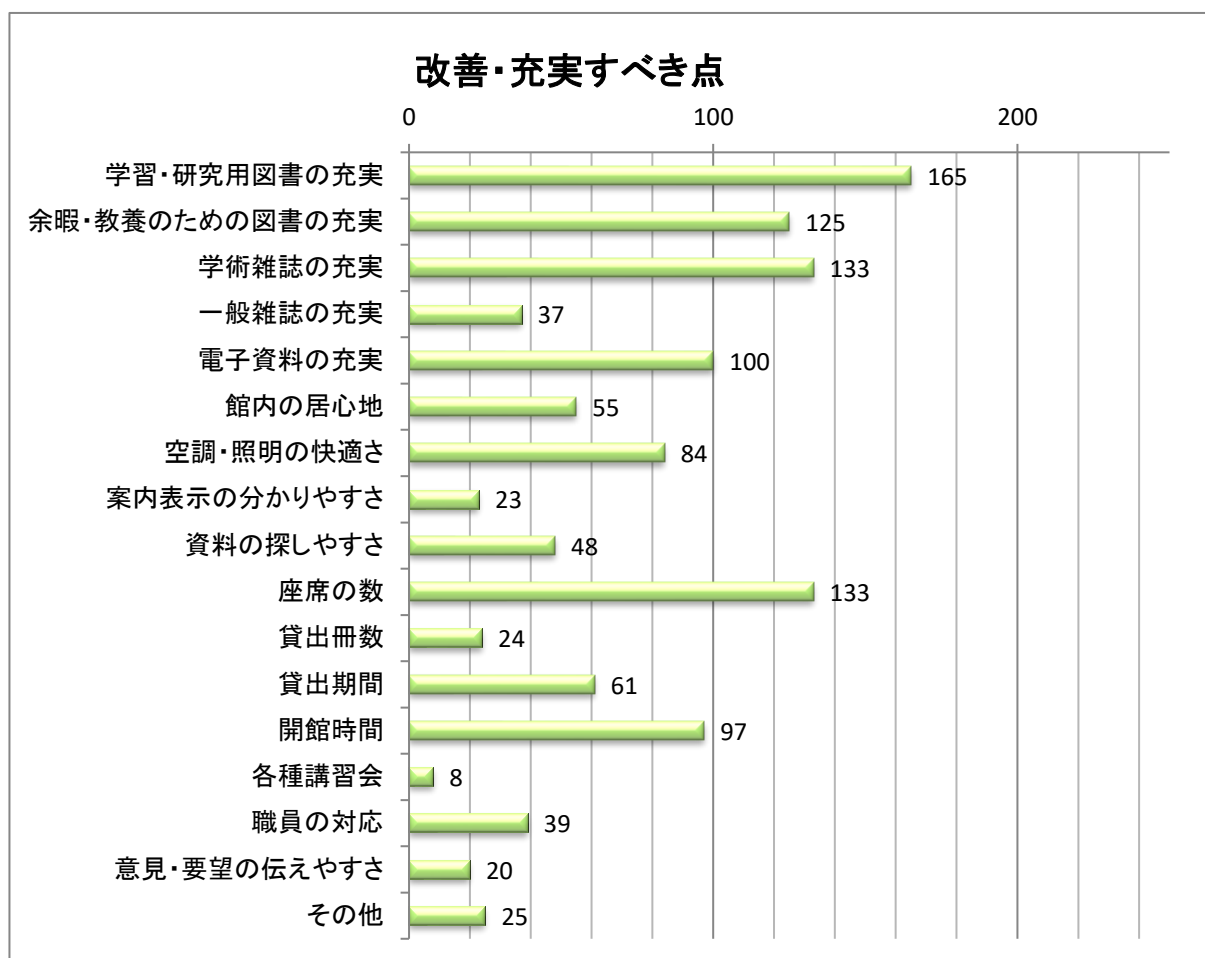


サービスの満足度（年度比較）



(今後への期待)

【設問 13】 図書館のサービスや施設・設備について、特に改善・充実すべき点があれば教えてください。(複数回答可)



■ 「その他」の記述

- ・ 館内の居心地;空調が効いていないのか夏、冬の館内が快適に思えないです。
- ・ 利用する機会が皆無設問 1 1 には回答しようがありません。
- ・ 利用の手軽さ
- ・ 他大学は 24h 空いているところ多いのに、弘前はなぜ空いてないのか
- ・ Amazon ベストセラーの洋書を入れて欲しい
- ・ 専門雑誌の配置(書庫)を分野ごとにしてほしい。ABC 順では非常に使いにくい。
- ・ 利用していないのでわからない。
- ・ 医学図書館の空調がひどいです。夏は暑すぎ、冬は寒すぎて勉強に集中できません。
- ・ 机が一つ一つ独立していて、その設置間隔がもっと広がると、パーソナルゾーンが広い人でも気兼ねなく利用しやすくなるかと感じています。
- ・ どんなサービスがあるのか定期的に案内して欲しい。
- ・ 図書館公式 X(旧 Twitter)がたまにするツイートの文章の言い方がキツすぎて不快になる時がある。
- ・ 貸出延長が上限になった本館所属の本について、医学部分館分館で返却して当日に再度貸出できる様にできれば便利だと思います。
- ・ イベントの開催や開催のための支援

【設問 14】最後に、図書館へのご意見・ご要望があればご記入ください。(自由回答)

※ご意見を抜粋して掲載しております。(◎は今回対応した事項)

◆空調・換気

- ・冷暖房を強くして頂けると嬉しいです。
- ・寒さを感じることもあるため、電気代などかかってくるかもしれないがもう少しだけ暖房を強くしていただけるとありがたいです。
- ・夏は冷房、冬は暖房をもう少し強めにつけて頂けるとより快適です。

◇昨今の光熱費高騰によって大学の財政は非常に厳しいものになっており、全学的に節電を求められている状況です。また、大学全体で使用できる電力量が契約で決まっているため、特に暑い日、寒い日は決められた電力量をオーバーしないよう、節電依頼が来ることも多々あります。寒いとき、暑いときはカウンターまでお申し出いただければ、可能な範囲で対処いたします。常に快適な気温を保つことができず、大変申し訳ありませんが、ある程度は衣服で調整していただきますよう、お願いします。

- ・冬季期間内は館内が乾燥しているので、加湿器を設置してもらえるとありがたいです。

◎現在、加湿器は館内3ヶ所に設置されています。利用者の多い雑誌棟閲覧室には未設置でしたので、増設します。

◆スペース

- ・ソファとテーブルのセットを何処かにもういくつか欲しい。

◇大学図書館は、基本的に学修・研究のための施設ですので、それ以外の目的に割けるスペースには限りがあります。ソファとローテーブルを置くために閲覧席を減らすことは、大学図書館本来の目的には合致しないと考えます。

- ・睡眠スペースがあったら嬉しい

◇睡眠場所を提供することは、大学図書館の役割には含まれないと考えます。また、誰でも入れるようになっている場所で眠ることには、犯罪被害のリスクがあります。体調が悪い場合は、平日夕方まででしたら、保健管理センターで仮眠を取らせてもらえる場合があります。単に眠いのであれば、ご自宅に戻って眠るのが一番安全かと考えます。

◆コンセント

- ・コンセントが設置されている席を増やしてほしい。
- ・2階の席にもコンセントをつけて欲しい。

◇昨今の光熱費高騰により、大学の財政は非常に厳しいものになっています。そのため、更なるコンセントの増設は見合わせている状況です。ご理解をお願いします。

◆飲食

- ・飲食スペースをもうちょっとだけ増やしてほしい
- ・飲料を購入できる自動販売機が設置されているとよい。
- ・飲食可能スペースにレンジがあると便利

◇自動販売機や飲食可のスペース増加については、運営委員会等で検討するようにします。

- ・飲食可能スペースを飲食中のみ利用可能なスペースにしてくれたら助かります。理由は、飲食可能なスペースで静かに勉強している人や本を読んでいる人が多く、非常に食べづらいからです。

◇スペースを利用する方に注意喚起するよう努めます。

- ・コーヒーのサービスを復活して欲しい。
- ・コーヒー・紅茶のサービスは今年はしてくれないのか。

◇コーヒーサービスは、令和3年度は雑誌棟リニューアル記念、令和4年度は読書週間イベントとして行ったものです。図書館には元々コーヒーを提供するための予算が無く、職員の負担も大きいことから、現時点では復活する予定はありません。

◆開館時間

- ・土日の閉館時間を延ばして欲しい
- ・土・日の閉館時間を平日と同じ閉館時間にしてほしい
- ・可能なら土日の開館時間を9時くらいに早めてほしい。

◇例えば土日の開館時間を現在より延長しますと、アルバイトの勤務時間が8時間を超えるため、人数を増やして早番遅番の交代制にするといった措置が必要になります。1日に勤務する人数も増え、シフトを調整するのも難しくなり、人件費も1時間分ではなく数時間分増えることとなります。検討はいたしますが、大学の厳しい財政状況を鑑みて、実現は難しいと考えます。

- ・開館時間を 24 時までにして欲しいです。
- ・閉館時間できるだけ伸ばして欲しいです。

◇現在は 22 時まで開館していますが、これより遅くなりますと、アルバイトも深夜勤務の扱いになり、時給も最低 25%以上増えることとなります。かかる経費に対し、利用者の見込み数は数十人程度と、費用対効果が高いとは言い難いです。また、利用者の方およびアルバイト学生の帰り時間が深夜になることは、安全面および健康面の問題で、お勧めできません。

- ・祝日も開館してほしい。
- ・祝日こそ学習のために開館してほしい。

◇現在、土日の利用者数は平日の 2 割程度にとどまっており、祝日に開館した場合もそれより利用者数が増える可能性は低いでしょう。検討はいたしますが、人件費、光熱費ともに値上がりしている状況で、更に祝日の開館を増やすことは難しいと思われまます。

- ・医学部図書館が開館している時期に本館が開いてないのは不公平さを感じる。

◇各館の開館日程は、授業日程を元に決められています。医学部分館の延長開館日数が本館より多いのは、医学部医学科の授業日程が全学のものと異なり、8 月を除き年間を通して授業があるためです。もし全学の授業日程が変わり、夏休みや春休みが短縮されることがあれば、本館の延長開館日数もその分増えることとなります。

◆利用

- ・事務官を含め退職者が利用しやすい、また退職教員相互の（学術）情報共有ができる研修室の設置が望まれます。かつては名誉教授室があって、弘前大学の退職教員の研究環境が担保されていたと聞いていました。図書館の有効活用法の一つとしてお考えになってみてください。

◇確かに以前は 1 階事務エリアに名誉教授室が設置されていましたが、実際に利用されていた名誉教授は 1~2 名で、スペースを有効活用しているとは言い難い状況でしたので、改修工事にあたり無くすことになりました。名誉教授の方に関しては、退職された後も学内者扱いとなりますので、予約制の個室等もご利用いただけます。

- ・カードがなくても、入れるようにして欲しい。顔認証、指紋認証、などなど。

◇顔認証や指紋認証は、非常に高度なセキュリティを要する場合に使用する認証方法かと存じませぬ。仮に指紋認証を採用するとして、毎年新入生だけでも約 1,700 人の指紋を取らなくてはならず、多大な時間と手間を要します。また、指紋は個人情報としても大変デリケートなもので

す。図書館に入館するためだけに指紋を取られたくないと思う方も多数いらっしゃると思いますが、認証方法を変更する場合は、全員が対象になります。せっかくのご提案ですが、現実的なものとは言えないと考えます。

・ 附属学校園職員です。申請をしないと図書館の利用証がもらえません。赴任をしたら無条件で利用証を発行してもらえると、大学教員と連携した研究業務もスムーズに行えると思います。ご検討ください。

◎附属学校に限らず、学内教職員は申請により利用証を発行しています。図書館は人事情報を管理する立場にないため、採用者の情報を事前に知ることはできません。また、利用者登録は、電話番号やメールアドレス、生年月日といった個人情報を含みますので、ご本人以外が申込書を書くことは難しいかと存じます。近年人事課では、学内教職員を採用する際、希望者に申込書を書いてもらい、学内便で図書館に送ってくれています。附属学校の場合も、同じように学内便で申込書を送っていただき、作成した利用証を附属学校あてに学内便で送るという方法を取ることは可能かと思えます。

◆貸出

・ 置きサービスをしてほしい。館内から図書を探すのが難しい。かなりの時間と労力とられる

◎教員限定で置きサービスを提供することにしました。保管スペースが限られるため、1人あたり1日に5冊までとさせていただきます。

◆研究室貸出図書

・ 附属図書館にある数学系の専門書の一部を、理工学部の2号館の11Fの図書室に置くようにしていただけると助かります。アクセスしやすく、休日でも利用しやすいためです。

◇基本的に、図書館の予算で購入した図書は図書館に、部局の予算（教員研究費等）で購入された図書は部局に置かれます。数学関係の図書を利用するのは、理工学部数学系の学生だけではありません。仮に図書館に置かれている数学系図書を数理の図書室に移した場合、教育学部の数学教育専攻の学生や理工学部の他学科の学生、学外者にとって、大変に不便なことになりますので、できかねます。

◆個室利用

・ ミーティングルームを学外の方を招いた会議等にも気軽に使用できるようになると良いかと思えます。

◇利用するグループに学外者が含まれていてもかまいません。グループのメンバーに最低1名の

学内者が入っていて、その方が申込者であれば利用できます。

・グループラーニンググループを2人からでも利用できるようにしてほしい

◇2023年4月より、グループラーニンググループの1は2名から利用可としていますので、こちらをご利用いただけます。

◆イベント

〈POP コンテストについて〉

- ・電子ブックは無条件で5ポイント加点するするというルールを無くしてほしい。或いはその理由を明示してほしい。
- ・POP作成者本人は自分のPOPに一度までしか投票できないルールにした方が良いのではないかな。

◇来年度の開催より電子ブックのPOPポイント（5票分）を加点しないことしました。
投票について、投票者が作成者なのか確認する手段がないため投票の規制ができません。
投票方法については、今年度と同様に実施する予定です。

◆広報

- ・専門書について、学生が読んで「わかりやすかった!」と思ったものを紹介できるようになったらいいなと思います。
自分が経済学に関する本を読んだとき「まだ知識が浅い学生が読んでも、この本ならわかりやすい!」と感じ、ほかの人が本を選ぶときの参考におすすめできたらいいなと思ったので、提案してみました。

◇図書館報「豊泉」の企画で教員・学生がお勧めする図書の企画として良いかもしれません。検討したいと思います。

- ・カウンター業務の中で、学生バイトしかいない時間帯にはできない手続き等があるので、ウェブサイト上で対応可能な時間帯を明記してほしい。

◇ホームページに掲載するようにいたします。

◆図書選定

- ・小説をもっと入れてほしいです。
- ・小説系の図書がまったく無いので、借りる図書が無い。

◇大学図書館という性質上、「学生の勉学及び教養に資する図書」を揃えることを選定方針とし

ています。そのため、学術書を中心に購入することになりますが、小説を読みたいという声が多いため、今年度は現代文学に詳しい教員の方々に小説・文芸書類を選定していただき、昨年度より小説・文芸書類の購入を増やしました。公共図書館のように、人気のある小説の新刊を揃えるという選定の仕方ではありませんので、読みたい小説が入ってこないと思われる方もいらっしゃるかと思います。そこは自分で購入したり、公共図書館を利用するなど、他の方法も考えていただけますと幸いです。

※公共図書館・弘前図書館には直接借りに行ってください。青森県立図書館から、参考調査カウンター経由で無料で借りることもできます。

・国立大学の懐事情を考えれば頑張っていると思います。ありがとうございます。ただ、あまりにも人文科学分野の専門書籍が少ない！人文・教育学部に歴史学の専科がないからなのだと思いますが、はっきり言って基本資料集が揃っていない（続刊が入っていないとかね）のは困ります。加えて、論文集類も「よく持ってるな」というような古いモノばかりで新刊がほとんど入っていないのはどうなんだろうかと思います。

◇年2回、各学部において、教員からの推薦図書を図書選定委員に取りまとめていただいておりますので、推薦図書リストに具体的な資料名を挙げていただけますと幸いです。また、予算状況を見ながら、不足している分野の図書を購入することもありますので、是非そういったご意見を委員を通じてお寄せいただけますと幸いです。

・プログラミング関連の図書の充実。
・生物を学んでいる身にとっては、生物学全般の専門書の蔵書が少ないように思います。
・洋書を増やして欲しい。

◇具体的な資料名やキーワードを挙げていただけましたら、予算状況を見ながら購入したいと思います。希望図書制度をご利用されても良いかと思います。

・児童書や絵本、ヤングアダルトのジャンルの本が読みたい。教育実習で児童と関わる上でも話題作りになって役立つ。

◇今年度はBook Hunting等で絵本もたくさん購入しています。是非ご利用ください。

・刷り込み効果用に、グローバル・スクエアに世界地図が欲しい。ただし、維持費があまりかからないもので。

◇書架に入るサイズの冊子の地図を留学生コーナーに配架しますので、必要に応じご覧ください。

◆電子ジャーナル・データベース

・データベースの充実をお願い致します（受益者負担なども含めて）

◇現在本学で契約している数学系データベース「MathSciNet」は契約額の半分以上を理工学研究科（数学分野）が負担する受益者負担という方式で契約しています。もし新たに導入したいデータベースがありましたら、受益者負担のことも含め、附属図書館雑誌情報担当へご相談ください。

・いつもお世話になっております。（難しいのは承知の上ですが）電子ジャーナルの購読数ももう少し幅広くなると有難いなと思っております。

◇2022年まで本学で契約している電子ジャーナルのタイトル数は8000タイトルほどでしたが、2023年1月から「ProQuest Research Library」というアグリゲータ系総合分野データベースを新規契約することで13000タイトル以上に増やしました。今後も電子ジャーナルのタイトル数や利用統計を注視し、ジャーナルの入れ替えを検討・試行していきます。

・医学部分館にしかないような図書を電子ジャーナルで読める冊数を増やして欲しいです。理工学部でも医学系に関する研究をしているところがあり、そのために必要な資料の調査を気軽にできるようにしたらスムーズに研究を進めることが出来ます。

◇エルゼビア、ワイリー、シュプリングーなど各出版社の電子ジャーナルパッケージは、全学でアクセスできるように設定しています。医中誌webなど、本町キャンパスでしかアクセスできないデータベースや電子ジャーナルもあります。“医学部分館にしかないような図書”の具体的な書名がわかれば検討いたしますのでご連絡ください。

◆雑誌

・専門雑誌の配置を分野ごとにしてほしい

◎今まで本館2階新着雑誌コーナーは雑誌タイトルのアルファベット順に並べておりましたが、2024年1月より試験的に、分野ごとに配置しなおします。並べ方を変えることにより雑誌を手に取りやすくなったかどうか、2024年11月（予定）の利用者アンケートでお尋ねしますので、次年度もアンケートにご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

・岳人が戻ってくると、とても助かります。

◇令和3年に学生用閲覧雑誌見直しアンケートを行い、その結果を元に購読雑誌の入れ替えを行いました。「岳人」「婦人公論」「週刊金曜日」を中止し、「English journal」「TOEIC Test プラス・マガジン」「ナショナルジオグラフィック」「企業診断」の新規購読を開始しました。

「岳人」をご愛読いただいていたようで、申し訳ございません。今後も数年に一度のペースで見直しを行う予定です。

◆新聞

- ・津軽新報社と住宅新報社の新聞が読みたいため、置いていただくことをご検討いただけますと幸いです。
- ・他刊（農業新聞・赤旗など）新聞、各業界ジャーナルや思想系月刊誌なども、まんべんなくおいてほしい。

◇新聞の定期購読を開始するには継続的な経費が必要になり、その分通常の図書購入費が削減となる可能性があります（2023年は購読している新聞の半数以上が値上げし、すでに図書購入費を圧迫しています）。専門的な分野の新聞より、利用者が多い新聞を優先していますので、何卒ご了承くださいますようお願いいたします。（津軽新報は青森県立図書館で購読・永年保存しているようです）

◆医学部分館

- ・本館は分館と違い、設備も座席数も揃っており、とても素晴らしい環境だと思う。本町キャンパスで過ごす自分としては、分館の設備は小中と大して変わらず、大学の図書館としては満足していません。図書館というより図書室であり、日当たりも悪く、息が詰まる。大学にはもっと学生の学習環境のためにお金を使ってほしい。

◎本館と分館の格差解消のために自動入退館装置や自動貸出装置の導入、ミーティングルームの設置を要望したところ、今年度はミーティングルームの設置が採択されましたので整備いたしました。今後もわずかずつでも整備を行っていきたいと思います。

- ・分館に心理学の本を増やして欲しいです。2年以降は本町キャンパスを使うことが多く、本館に行くのが難しくなったのですが、それまで以上に専門書を借りる機会が増え、分館に行っても借りたいものや見えそうなものがなく困っています。

◇医学部心理支援科学科が設置以来心理学関連の資料のご要望が増えておりますが、他学科との予算配分の兼ね合いもあり、蔵書を構築するには多少のお時間をいただくことになるかと思えます。分館では他の図書館からの取り寄せサービスも取り扱っておりますので、本館、公共図書館と併せてご利用ください。

- ・医学部本館は、保健学科は行きにくいし暗証番号すら教わっていないのは医学部図書館と言っているのにおかしいのではないかと。Webや仮図書館の設置など、保健学科のキャンパスからも図書館を利用しやすくしてほしい。

◇休日に医学研究科に入構するためのパスワードにつきましては保健学研究科の学務担当までお問い合わせください。仮図書館の設置についてですが、以前は保健学科分室が置かれておりましたが運営の見直しで廃止となり医学部分館に統合されたという経緯があります。スペースや経費の面で再設置は困難かと思われます。

・新しい書籍が少ない。何冊か授業で言われた参考図書を希望図書として出したが、採用されない。されないにしても、選考基準や時期等を明確にしてほしい。

◇今年度は急激に円安が進行し、電子ジャーナルなどの予算が膨張したため、図書経費を削減して補填した関係上、希望図書につきましては対応が遅れておりますので、ご理解をお願いします。

・医学部分館の土日の開館時間を延長して欲しいです。テスト期間など、平日と同様に22時まで勉強したいです。
また、大半の医学科生は5コマまで授業があり、図書館のアルバイトに応募できないので休日の開館時間を延長した分で医学科生をアルバイトとして採用したらどうでしょうか。

◇利用時間延長につきましては、光熱水費や人件費など多くの経費が必要となり、実現は困難かと思われます。

また、土日の医学科生のアルバイト雇用についてですが、雇用を平日と休日を分離した場合、緊急時のシフト交代の際に柔軟性を欠き、運営に支障をきたす可能性があります。予備人員を増やした場合、一人一人の収入が少なくなるなど、様々な課題があることをご理解くださいますようお願いいたします。

・医学部分館 24h 開けて欲しい。

◇分館を24時間開館した場合、人件費光熱費合わせて約4千万円の経費増加が見込まれます。経費の財源、現在の深夜休日の利用状況から見て24時間開館は困難と思われます。生活時間の見直しなどで現状の開館時間を有効にご利用くださいますようお願いいたします。

・医学図書館の空調と開館時間の改善をお願いします。また今回の様に意見を述べる場がありません。本当に困っているので、改善をお願いします。

◇近年空調設備の老朽化が進行しており、不調となることが増えております。施設環境部へ空調期の更新を要望してはおりますが、実現には時間がかかる見込みです。ご理解のほどよろしくをお願いします。

また要望事項につきましては分館2F自修室前にご意見箱を設置しておりますのでどうぞご利用ください。

◆その他

・最近の図書館公式 Twitter が中の人の愚痴が多くなっている気がする。利用者にストレスが溜まっているのかもしれないが、公式アカウントを私物化するのはどうかと思う。

◇愚痴ではなく、注意喚起のためです。ルールを守っていない方を見つけた場合はその場で注意していますが、ルールを知らないで同じことをしている方がいるかもしれないため、Twitter で流すこともあります。掲示していても読まない方もいらっしゃいますので、ルール周知の一環として行っています。

・図書館でイベント（読書系イベントなど）を実施したいときの相談先が明確にわかるとありがたいなと思います。

◇サービスカウンターでご相談ください。分野的に別の係が担当した方がよい場合も、該当する係をご紹介します。

・以前卒業論文は図書館に置いてあるものかわからず、質問の意味でお伺いしたところ、かなりひどい言い方をされました。図書館の司書さんは公的にサービスを提供する義務があると思いますが、分からず本を探している人に対し、あの対応は無いと思います。気がついているのかは分かりませんが、誰に対しても当たり前のような言い方は気をつけるべきだと思います。

◇ご不快な思いをさせてしまい、申し訳ありません。今後は気をつけるようにいたします。ただ、「本を探している」と書かれています。卒業論文は本ではなく、学部で学務・教務に提出する書類です。所属学部で提出する書類のことを図書館に訊かれましても、担当ではないため、正しくお答えすることができません。なお、調べたところ、卒業論文は個人情報を含む書類であるため、本学では情報公開請求の対象外としているようです。

・学割証などの印刷機を総合教育棟に戻して頂きたいです。学割証を印刷するためだけに、図書館に行くのが無駄です。勉強してる人の視線等も気になりますし。

◇総合教育棟には元々2台の証明書印刷機が設置されていました。もう1台の方は総合教育棟に設置されたままです。そちらを利用されることをお勧めします。

・授業終わりや始まりのチャイムが図書館でもなるようにしてほしいです。

◇当面は状況を見まして、希望する方が多数の場合は、検討することにいたします。